

博士後期課程3年の和久光靖さんが、水産海洋学会において下記論文により2013年度の学会賞（論文賞）を受賞しました。水産海洋学会では、学会賞として宇田賞、論文賞、奨励賞、若手優秀講演賞を設け、表彰をおこなっています（水産海洋学会・学会賞規定）。

●受賞論文

「沿岸域におけるデッドゾーンの分布」

●掲載誌等

水産海洋研究（76巻4号，187-196，2012）

●共同研究者

和久光靖，金子健司，鈴木輝明，高倍昭洋



●論文要旨

世界の主要な内湾は、夏季の大規模な赤潮の発生と、それに起因する貧酸素水塊の発達により、生態系の健全な物質循環が阻害され、漁業生産の減少傾向が続いている。しかし環境悪化は湾中央部のみでなく、窪地等においても顕在化している。このような局所的環境悪化水域（デッドゾーン）が内湾生態系に与える影響は明らかでなかった。

本論文は、水温・塩分・溶存酸素および流況の連続観測を行うとともに、粒子状物質の沈降フラックスを測定し、浚渫窪地は、窪地内部の貧酸素水に起因する周辺浅海域の底生生物の大量へい死を招くだけでなく、それに惹起される膨大な量の粒子状有機物の集積機構により、貧酸素水および硫化水素の無限発生装置的空間となることを明らかにしたものである。